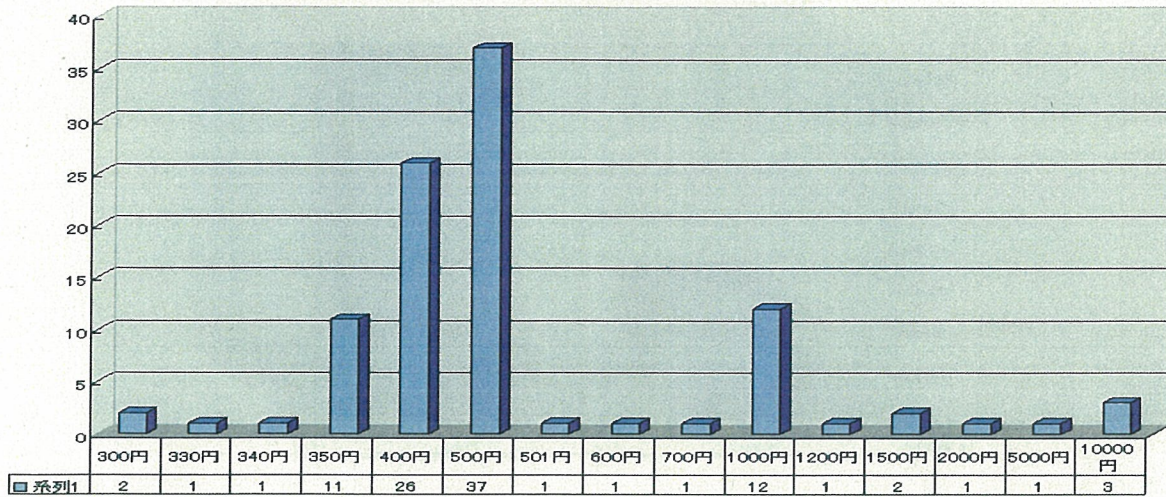


喫煙停止価格

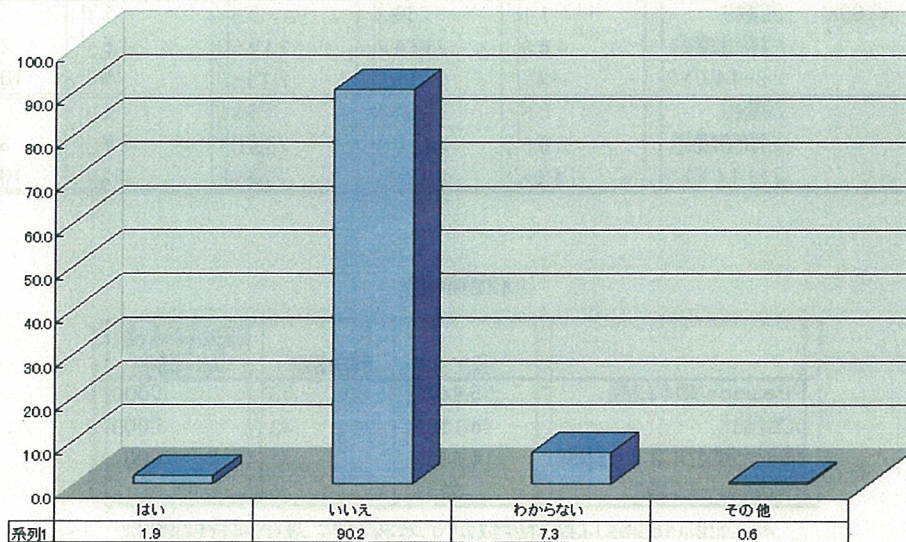


⑭再喫煙の欲求

圧倒的多数が、喫煙への意向を持たない。この情報は非常に重要である。しかし、一度禁煙を持

続させた場合、再度喫煙に向かうかどうかの臨界的割合がどれくらいかについての注意深い見当が必要である。

再喫煙欲求

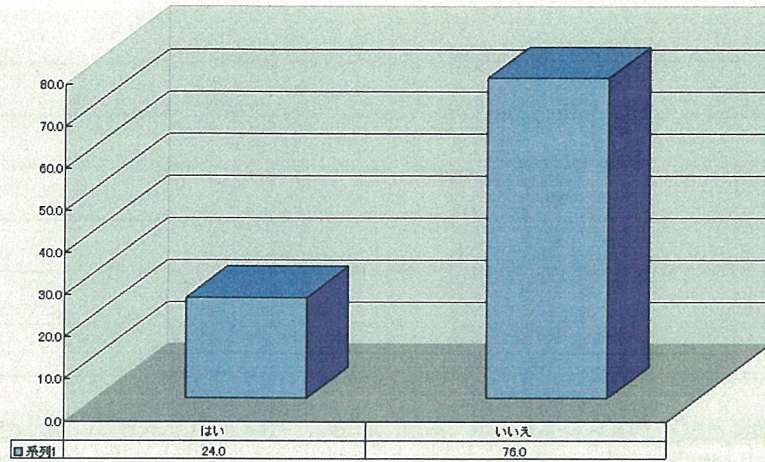


⑮喫煙経験の有無

この設問は、喫煙欲求の有無とクロスして検討す

る必要がある。一度禁煙して、再度喫煙を開始する人数がどれくらいかを推測するためである。

喫煙経験の有無



禁煙経験のある人が75人いて、そのうち喫煙再開を望まない人の割合が68%、態度保留が24%となっている。また、喫煙経験の無い人は315人い

て、その中で喫煙したいという希望が0.4%にも満たない。

2-14 と 2-13 のクロス表

		2-13				合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	
2-14	1.00	度数 5	51	18	1	75
		期待度数 1.4	67.6	5.5	.5	75.0
		2-14 の % 6.7%	68.0%	24.0%	1.3%	100.0%
	2.00	度数 1	233	5	1	240
		期待度数 4.6	216.4	17.5	1.5	240.0
		2-14 の % .4%	97.1%	2.1%	.4%	100.0%
合計		度数 6	284	23	2	315
		期待度数 6.0	284.0	23.0	2.0	315.0
		2-14 の % 1.9%	90.2%	7.3%	.6%	100.0%

カイ2乗検定

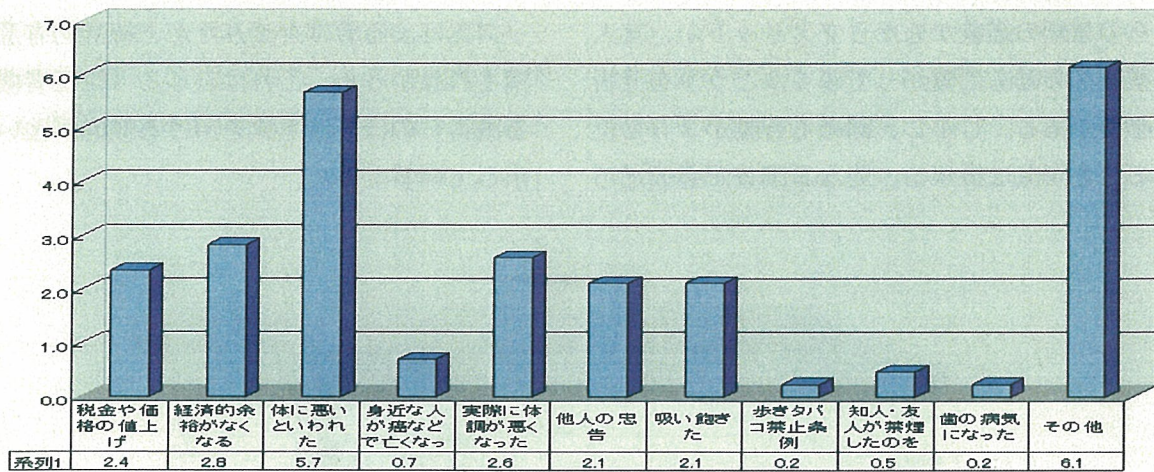
	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	55.428 ^a	3	.000
尤度比	46.139	3	.000
線型と線型による連関	15.435	1	.000
有効なケースの数	315		

a. 4 セル (50.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .48 です。

⑩禁煙を決意した理由
経済的な理由よりも、健康上の理由が大きい。こ

れは、喫煙教育に健康上の観点を強調することの有効性を示唆してくれる。

禁煙の理由

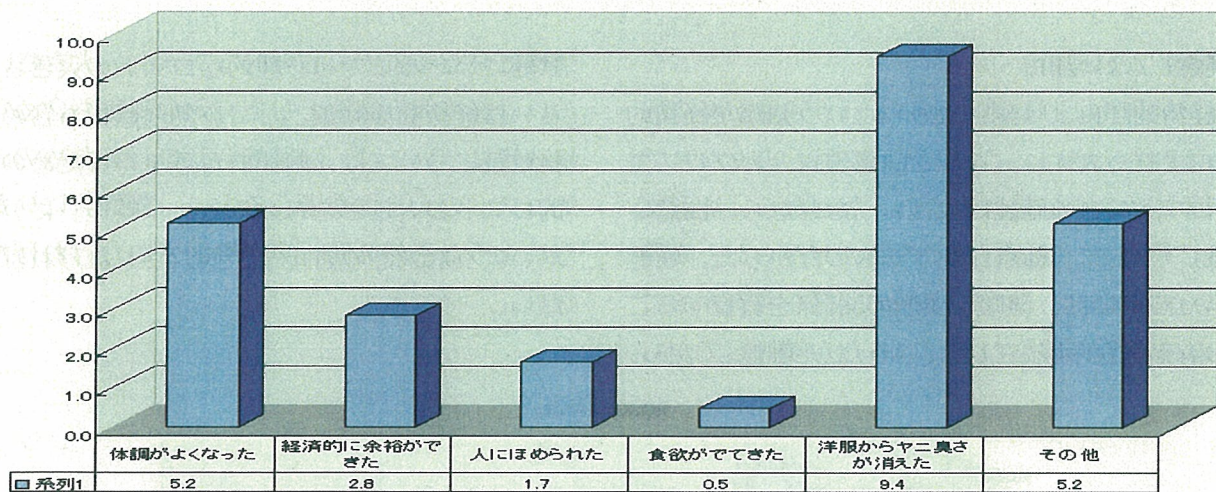


⑰禁煙のメリット

禁煙の理由と、実際禁煙してのメリットとの関連

性を調べることで、そのギャップから禁煙推奨策の糸口が出てくるように思われる。

禁煙のメリット



そこで、禁煙の効果と禁煙のきっかけでオッズ比を計算して比較してみる。数値の比較から、経済的きっかけと経済的効果の関連性、健康への関心と健康への効果の関連性が強いという至極当たり

前の結果となった。しかし、それぞれの関連性が複合的な関係にあることがこのオッズ比の計算結果から推測可能である。

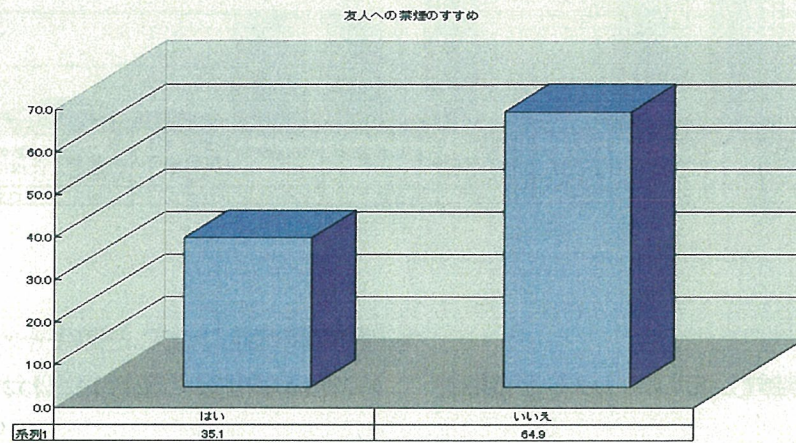
禁煙による健康改善と経済的余裕と「禁煙のきっかけ」とのオッズ比

	価格が上昇	経済状態悪化	健康に悪い	知人の癌死	体調悪化	他人の忠告
体調改善	14.63	6.88	23.03	40.00	19.36	29.19
経済的余裕	67.83	81.20	6.98	---	4.02	5.05

⑱友人への禁煙の勧め

自らの禁煙の経験がもたらすメリットが、友人への禁煙への勧めに繋がってゆくかどうかを分析する必要がある。しかし、勧める行動が35%位であることが気に掛かる。更なる調査が必要だろ

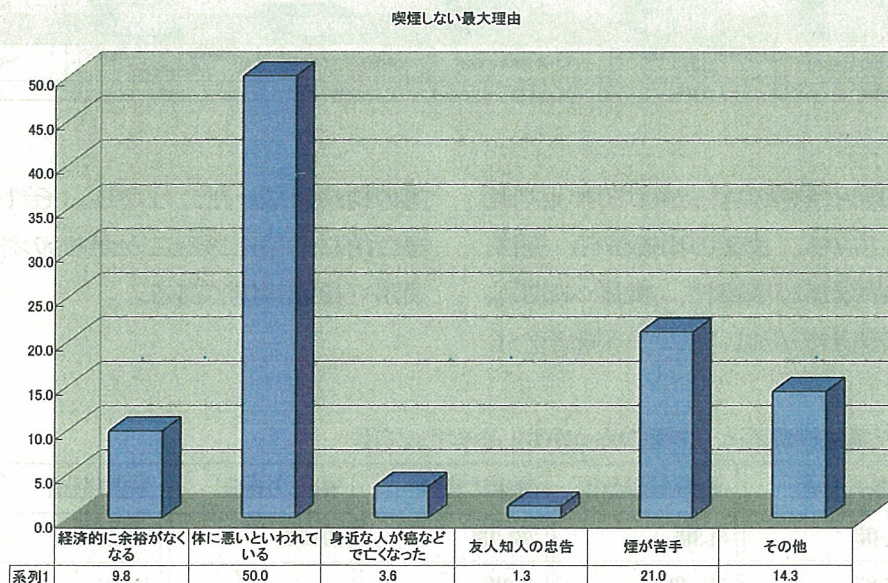
う。もっとも、禁煙効果と禁煙の勧めとの間にオッズ比による計算を試みたが、統計的有意性は観察されなかった。これはむしろ「第三者機関による説得」のほうに下駄を預ける傾向が強いことを示しているようだ。



⑲喫煙しない理由

経済的理由より健康に悪いという知識が経済的理由よりも大きい。これと注意文言とのクロスで分析することの価値は大きい。なぜなら、注意文言は「すべて」健康に関するものだからだ。喫煙にいたるまでに、健康と喫煙の関係を教育することの有効性が示唆される。いったん喫煙してから

禁煙にいたるまでの心理的なコストの大きさ、あるいは経済的規制策として有効な課税も含めた価格政策については、国民的合意を得るための政治的コストの大きさを考えると、「喫煙」にいたらないような未然の防止策が検討されなければならない。

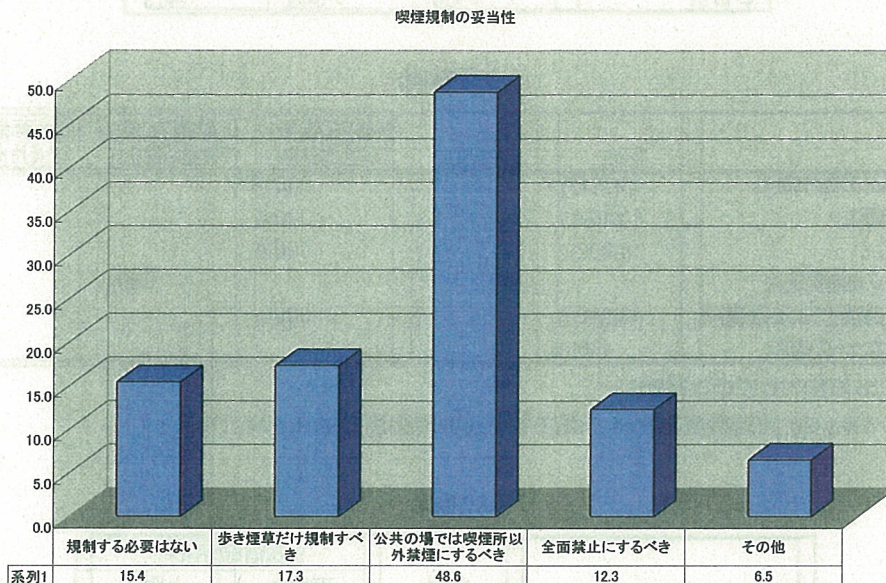


4. 喫煙規制の分析

①喫煙規制の妥当性

規制する必要がないという意見を持つ人たちのグループ属性を抽出する必要がある。と同時に「公共マナー」との関連性について意識が高いことに

注目すべきだろう。マナー規制について喫煙率の減少との関連性を一部疑問視する意見もあるが、喫煙本数への影響も無視できないことも留意する必要があるように思われる。



また、喫煙者（表側の1）と非喫煙者（表側の2）とで、規制の妥当性に対する反応は明らかに違う。喫煙者にとって36%が規制は不必要と応えているが、非喫煙者は不必要と答えた人は9%弱で留

まっている。さらにオッズ比を規制の必要性で（不必要=1、それ以外=2）みると、5.8という高い関連性を示していることに注目する必要がある。

クロス表

			3					合計
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
2	1.00	度数	37	17	44	2	3	103
		期待度数	16.0	18.0	49.9	12.5	6.7	103.0
		2の%	35.9%	16.5%	42.7%	1.9%	2.9%	100.0%
	2.00	度数	27	55	156	48	24	310
		期待度数	48.0	54.0	150.1	37.5	20.3	310.0
		2の%	8.7%	17.7%	50.3%	15.5%	7.7%	100.0%
合計	度数	64	72	200	50	27	413	
	期待度数	64.0	72.0	200.0	50.0	27.0	413.0	
	2の%	15.5%	17.4%	48.4%	12.1%	6.5%	100.0%	

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	52.406 ^a	4	.000
尤度比	51.686	4	.000
線型と線型による連関	40.085	1	.000
有効なケースの数	413		

a. 0セル(.0%)は期待度数が5未満です。最小期待度数は6.73です。

クロス表

度数		規制必要		合計
		1.00	2.00	
2	1.00	37	66	103
	2.00	27	283	
合計		64	349	413

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)	正確有意確率(両側)	正確有意確率(片側)
Pearson のカイ2乗	43.721 ^b	1	.000		
連続修正 ^a	41.667	1	.000		
尤度比	38.302	1	.000		
Fisher の直接法				.000	.000
線型と線型による連関 有効なケースの数	43.615 413	1	.000		

a. 2x2 表に対してのみ計算

b. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 15.96 です。

リスク推定

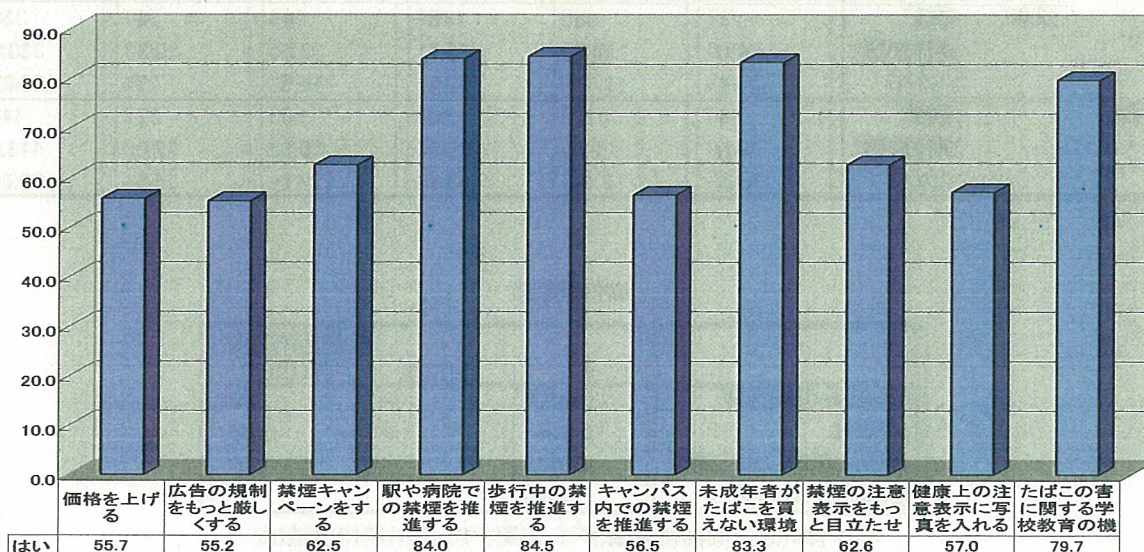
	値	95%信頼区間	
		下限	上限
2 (1.00 / 2.00) のオッズ比	5.876	3.344	10.326
コーホート 規制必要 = 1.00 に対して	4.124	2.648	6.424
コーホート 規制必要 = 2.00 に対して	.702	.605	.814
有効なケースの数	413		

②規制の必要性

この設問は、多重解答を許している。公共の場での喫煙防止や未成年の喫煙を防止する学校教育、そして注意文言などが価格規制などより上位にあ

る。これは、喫煙に対するマナーの向上策が、価格規制などで禁煙に誘導するよりも重要であるということを示唆する。

規制の手段



ここで、規制の妥当性と規制手段との関連性の強さで比較するためにオッズ比を計算した。この場合は、数値が小さい場合に関連性の強さが示唆される。この結果は、歩行中の喫煙規制、未成年への販売禁止、キャンペーン、公共の場の禁煙などとの関連性が高いことを示している。特筆すべきは、価格上昇や広告規制に対する政策的妥当性に

ついて学生はそれほど高く評価してはいない。特に価格による規制に日本のように価格が相対的に低い場合、タバコ製品について凹型需要曲線が想定されるとすれば、なおさら効果はそれほど高くは無いと思われる。注意文言等の規制よりも妥当性のオッズ比が低いことは注目すべきだろう。

手段	価格上昇	広告規制	キャンペーン	公共の場 禁煙	歩行禁煙	キャンパス 禁煙	未成年 販売禁止	注意表示	写真入 パッケージ	学校教育
妥当性 の有無	0.31	0.48	0.17	0.17	0.10	0.27	0.16	0.27	0.26	0.28
喫煙/ 非喫煙	0.15	0.37	0.30	0.18	0.15	0.22	0.32	0.29	0.60	0.41

さらに、喫煙者と非喫煙者とでは規制政策への方向性のオッズ比を計算し、全データとのオッズ比とで比較してみると、一般的に喫煙/非喫煙のオッズ比が小さければ小さいほど、2つの集団での規制

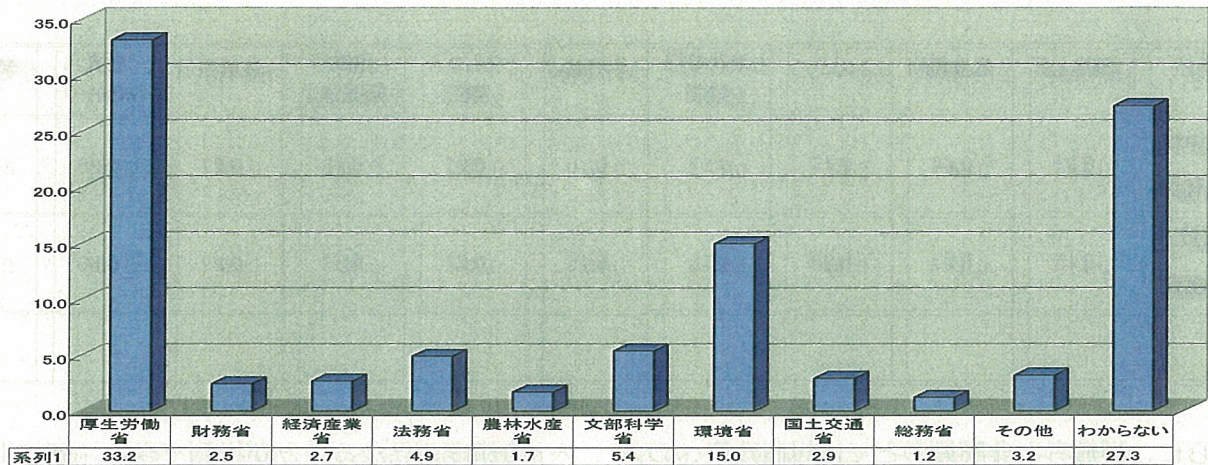
への態度が異なることが推測できる。価格上昇、歩行禁煙、公共の場での禁煙などについてはかなり意見が対立している。

③規制を所管すべき省庁

タバコ事業法、JT法は財務省、生活習慣病と喫煙については厚生労働省、青少年の喫煙防止は警察庁、葉タバコに関連する施策は農水省という「縦割り」ではあるが、「たばこ」に関する一元的規制官庁として、厚生労働省や環境省の割合が高い

ことに注目する必要がある。税財源として「たばこ税」が重要な財政商品として酒同様の位置づけであるが、高齢化社会での生活習慣病などによる国民医療費の増加などを考えると、厚生労働省によるイニシアティブの一元化も検討される必要があるだろう。

規制を主管すべき省

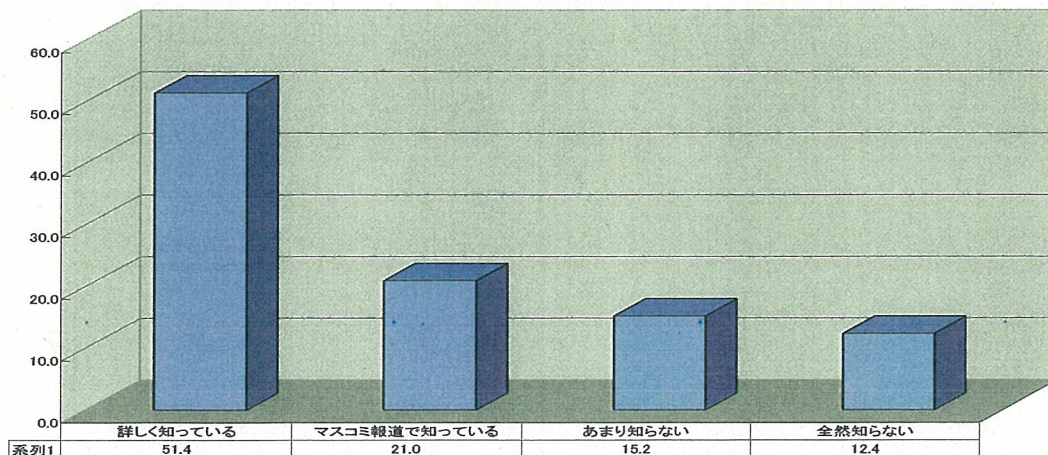


④注意文言の認知度

各種メディアを通じてパッケージに注意文言を掲載する旨の報道がなされたにもかかわらず、その認知度は期待したほどには高くない。喫煙者とそうでない集団での認知度の違いがどれほどある

かを比較する必要がある。注意文言に対して、喫煙者（表側の1）と非喫煙者（表側の2）とで比較すると、統計的には反応には違いはないことが分かる。その意味では、広く国民に周知されているといえる。

注意文言認知度合い



クロス表

			6				合計
			1.00	2.00	3.00	4.00	
2	1.00	度数	55	27	14	11	107
		期待度数	55.2	22.3	16.4	13.1	107.0
		2の%	51.4%	25.2%	13.1%	10.3%	100.0%
	2.00	度数	160	60	50	40	310
		期待度数	159.8	64.7	47.6	37.9	310.0
		2の%	51.6%	19.4%	16.1%	12.9%	100.0%
合計		度数	215	87	64	51	417
		期待度数	215.0	87.0	64.0	51.0	417.0
		2の%	51.6%	20.9%	15.3%	12.2%	100.0%

カイ乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ乗	2.246 ^a	3	.523
尤度比	2.227	3	.527
線型と線型による連関	.453	1	.501
有効なケースの数	417		

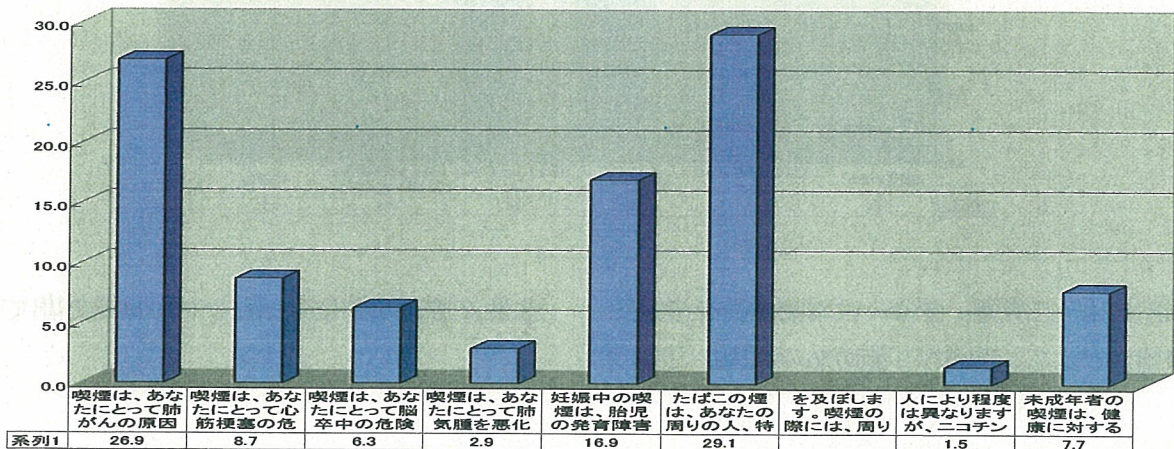
a. 0セル(.0%)は期待度数が5未満です。最小期待度数は13.09です。

⑤印象深い注意文言

受動喫煙についての注意文言が最も注目を引いている。ついで肺がんについての注意文言、妊娠中の悪影響、未成年喫煙についての注意文言が高い注目率である。しかし、心臓病や脳卒中、肺気腫といった若者にとってあまりなじみのない病名についての注意に対する注目率は高くない。病名と年齢との関連性などもどのように教育するかも重要になってくる。

クロス表で確認できるように、喫煙者(表側=1)にとって「喫煙はあなたにとって肺がんの原因になります」がトップで、非喫煙者(表側=2)にとって「タバコの煙はあなたの周りの人・・・、周りの人に迷惑・・・」がトップとなっている。これは、喫煙者と非喫煙者では喫煙のリスクと受動喫煙のリスクに対して、関心の順位付けが逆転していることが明確になる。

印象深い注意文言



2と7のクロス表

			7							合計	
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00		8.00
2	1.00	度数	37	5	7	9	17	20	0	7	102
		期待度数	27.4	9.0	6.5	3.0	17.2	29.6	1.5	8.0	102.0
		2の%	36.3%	4.9%	6.9%	8.8%	16.7%	19.6%	.0%	6.9%	100.0%
	2.00	度数	73	31	19	3	52	99	6	25	308
		期待度数	82.6	27.0	19.5	9.0	51.8	89.4	4.5	24.0	308.0
		2の%	23.7%	10.1%	6.2%	1.0%	16.9%	32.1%	1.9%	8.1%	100.0%
合計		度数	110	36	26	12	69	119	6	32	410
		期待度数	110.0	36.0	26.0	12.0	69.0	119.0	6.0	32.0	410.0
		2の%	26.8%	8.8%	6.3%	2.9%	16.8%	29.0%	1.5%	7.8%	100.0%

カイ乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ乗	29.322 ^a	7	.000
尤度比	28.288	7	.000
線型と線型による連関	5.698	1	.017
有効なケースの数	410		

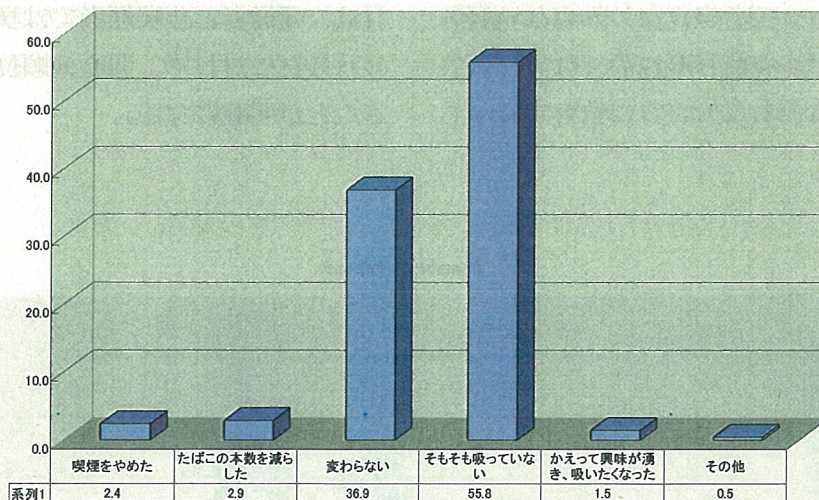
a. 3セル(18.8%)は期待度数が5未満です。最小期待度数は1.49です。

⑥注意文言の効果

あまり効果がないとみているのだろうか? たばこのパッケージに載せることが良いのか、それ以外

のメディアなどで周知させる必要があるのか、再度検討する必要がある。

注意文言の効果



表示によって禁煙、あるいは本数減少を決定した集団にとって、やはり「肺がんの原因」という

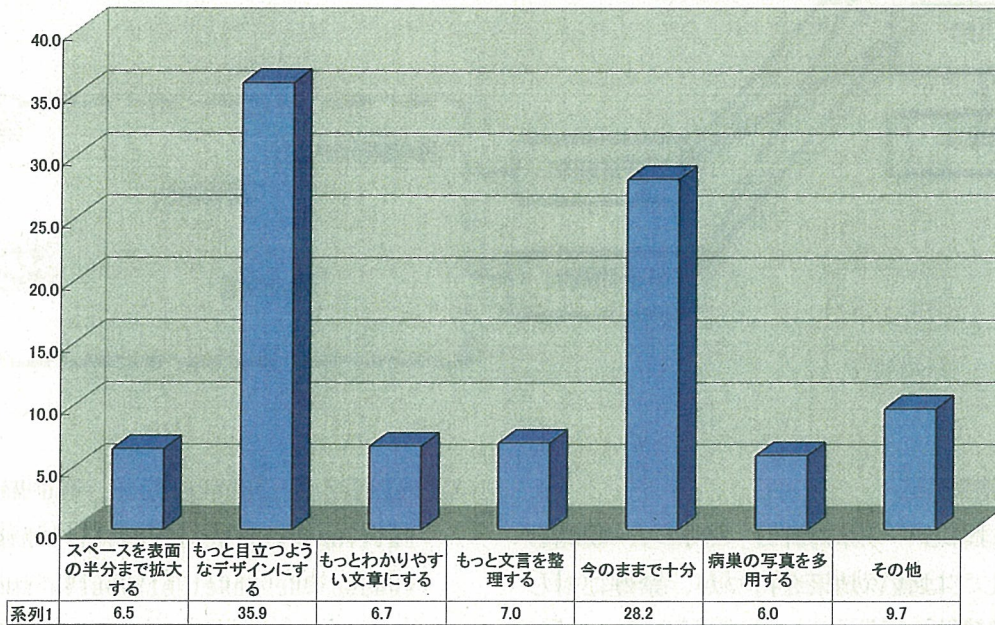
注意文言は印象に残ったという回答が出ている。

⑦注意文言表示の改善

注意文言が「もっと目立つように」が、「今のままでよい」を10%弱上回っているが、文言の修正や整理、写真掲載などはそれほど改善策とし

て重視されてはいない。注目すべき点は、表示によって禁煙、あるいは本数減少を決定した集団にとって、「もっと目立つようなデザイン」と、「スペースの拡大」に対する要望が大きいことだ。

表示等改善点



2と9のクロス表

		9					合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
2	1.00	度数 1	14	2	6	57	80
		期待度数 6.0	33.9	6.4	6.7	27.0	80.0
		2の% 1.3%	17.5%	2.5%	7.5%	71.3%	100.0%
	2.00	度数 24	128	25	22	56	255
		期待度数 19.0	108.1	20.6	21.3	86.0	255.0
		2の% 9.4%	50.2%	9.8%	8.6%	22.0%	100.0%
合計		度数 25	142	27	28	113	335
		期待度数 25.0	142.0	27.0	28.0	113.0	335.0
		2の% 7.5%	42.4%	8.1%	8.4%	33.7%	100.0%

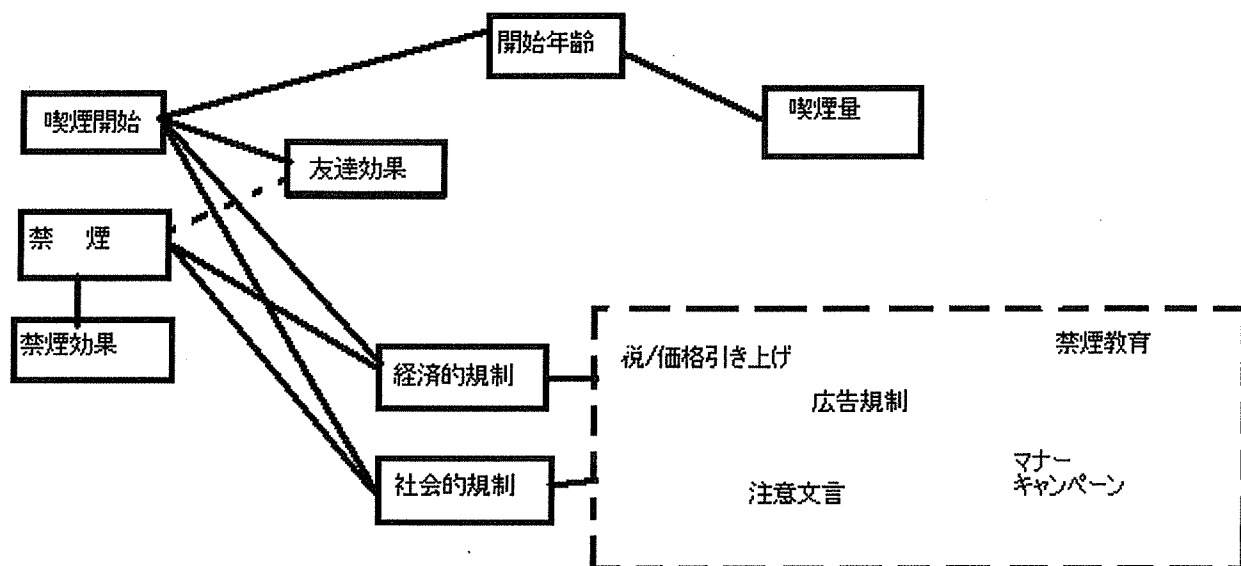
カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	68.776 ^a	4	.000
尤度比	68.462	4	.000
線型と線型による連関	61.412	1	.000
有効なケースの数	335		

a. 0セル(.0%)は期待度数が5未満です。最小期待度数は5.97です。

5. 終わりに

本調査研究の設問の体系図を示すと、



となる。

今回の調査結果から、

①友達効果は著しい「非対称性」を持ち、喫煙のきっかけとしては強い効果を持つが、禁煙に対してはほとんど効果を持たない。したがって、「信頼のおける第三者（機関）」による教育やメッセージが重要である。

②禁煙のメッセージについては、「肺がんのリスク」野訴求力があることが分かった。注意文言はいくつかに絞り、かつ見易さや注目率を上げるデザインなどの工夫が必要であることがわかった。

③早期喫煙と喫煙数量との関連性が確認された。これから、青少年の禁煙教育を早急に進めるとともに、特に「健康被害」についての確実な知識を小学生の段階から伝達することが重要である。

④世界的にタバコの価格が低い日本においては、凹型需要曲線が想定される場合、価格の大幅な上昇でなければ、禁煙の効果はそれほど高くは無いと見てよいという結論が得られた。

参考文献

1) Chaloupka, F. J., Rational addictive behavior and cigarette smoking. *Journal of Political Economy*. 1991 pp. 722-742.

2) DeCiicca, P., Kenkel, D. S., and Mathios, A., Putting out the fires; Will higher taxes reduce the onset of youth smoking? *Journal of Political Economy*. 2002. pp. 144-169.

3) Gruber, J. Youth smoking in the United States; Evidence and Implications, in J. Gruber (Ed.) *Risky Behavior among Youth*. University of Chicago Press. 2001.

4) Lewit, E. M., Coate, D., and Grossman, M., The effects of government regulation on teenage smoking. *Journal of Law and Economics*. 1981. pp. 545-569.

5) Powell, L. M. and Chaloupka, F. J., Parents, public policy, and youth smoking. *Policy Analysis Management*. 2005. pp. 93-112.

6) Viscusi, W. K., and Magat, W. A. *Learning About Risk*. Harvard University Press. 1987.

7) Magat, W. A., and Viscusi, W. K., *Informational Approaches to Regulation*. The MIT Press. 1992.

中央大学喫煙行動に関するアンケート

私たちは、喫煙を取り巻く環境の変化について、調査を行うことにしました。

2005年2月に「たばこ規制枠組み条約」が発効され、同年4月より「健康増進法」が施行、7月から注意文言が全パッケージに印刷されることになりました。

本学においても2003年の「クリーンキャンパス宣言」により、歩き煙草が禁止されています。こうした煙草をめぐる環境の変化が国内外で起こっています。そこで、喫煙行動について中央大学の学生の皆さんが日頃どのように思っているのかを調査したいと考えました。

注意書き

1. 本調査は総合政策学部・社会統計学の授業の一環として実施されます。なお、この結果は財務省財政制度等審議会たばこ事業等分科会（分科会長代理 細野助博中央大学教授）で参考資料として使用され、国の政策に反映される可能性があります。
2. 原則的に、本調査は中央大学の学生に対して行われます。
3. 調査は統計的に処理します。個人の情報を公開するなど、回答者にご迷惑がかかることは一切ございません。
4. 調査結果は総合政策学部のホームページに掲載します。

お忙しい中恐縮ですが、ご記入を終わりましたら、ペDESTリアンデッキ下（ペデ下）の受付までご提出ください。

本調査の内容につきまして、ご不明な点やご意見等がございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先；中央大学総合政策学部 細野研究室 TEL:0426-74-4140

問1 あなたが現在興味を持っていることは何ですか。○を1つつけて下さい。

1. 学業 2. 就職 3. 恋愛 4. 社会問題 5. 国際問題 6. アルバイト
 7. サークル 8. ボランティア活動 9. 音楽 10. ファッション 11. スポーツ
 12. 資格取得 13. 友人関係
 14. その他(具体的に)

1

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	65	15.3	16.5	16.5
	2.00	67	15.8	17.0	33.6
	3.00	53	12.5	13.5	47.1
	4.00	13	3.1	3.3	50.4
	5.00	22	5.2	5.6	56.0
	6.00	17	4.0	4.3	60.3
	7.00	35	8.3	8.9	69.2
	8.00	9	2.1	2.3	71.5
	9.00	28	6.6	7.1	78.6
	10.00	11	2.6	2.8	81.4
	11.00	24	5.7	6.1	87.5
	12.00	22	5.2	5.6	93.1
	13.00	10	2.4	2.5	95.7
	14.00	17	4.0	4.3	100.0
	合計	393	92.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	7.3		
	合計	424	100.0		

問2 【すべての方にお伺いします】現在、タバコを吸っていますか

1. はい (はいと答えた方→質問2-1から2-12にお答えください)
 2. いいえ (いいえと答えた方→質問2-13から2-18にお答えください)

2

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	109	25.7	25.9	25.9
	2.00	312	73.6	74.1	100.0
	合計	421	99.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	3	.7		
	合計	424	100.0		

【問2で「はい」と答えた方にお伺いします】

2-1 タバコを始めたきっかけは何ですか。

1. 友人・同僚との付き合い 2. 興味があった 3. 家族が吸っていた
 4. ストレス解消 5. 強要された 6. かっこよかった、ファッション性
 7. 自動販売機等で気軽に買える 8. TVや雑誌、駅等の広告を見て
 9. わからない
 10. その他(具体的に)

2-1

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	37	8.7	35.9	35.9
	2.00	19	4.5	18.4	54.4
	3.00	4	.9	3.9	58.3
	4.00	16	3.8	15.5	73.8
	5.00	4	.9	3.9	77.7
	6.00	10	2.4	9.7	87.4
	7.00	1	.2	1.0	88.3
	9.00	4	.9	3.9	92.2
	10.00	8	1.9	7.8	100.0
	合計	103	24.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	321	75.7		
合計		424	100.0		

2-2 吸い始めたのはいつですか。

1. 中学入学以前 2. 中学生 3. 高校生 4. 浪人生 5. 大学生

2-2

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	4	.9	3.9	3.9
	2.00	20	4.7	19.6	23.5
	3.00	36	8.5	35.3	58.8
	4.00	3	.7	2.9	61.8
	5.00	39	9.2	38.2	100.0
	合計	102	24.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	322	75.9		
合計		424	100.0		

2-3 一日に平均何本くらい吸いますか。

1. 1~10本 2. 11~20本 3. 21~30本 4. 31~40本 5. 41本以上

2-3

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	46	10.8	43.4	43.4
	2.00	38	9.0	35.8	79.2
	3.00	16	3.8	15.1	94.3
	4.00	3	.7	2.8	97.2
	5.00	3	.7	2.8	100.0
	合計	106	25.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	318	75.0		
合計		424	100.0		

2-4 どのようなときにタバコを吸ってみたいと思いますか？

1. 周りの人が吸っているとき
2. たばこのCMや広告を見たとき
3. テレビや映画で吸っている人を見たとき
4. ただ何となく
5. その他（具体的に

2-4

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	23	5.4	22.5	22.5
	2.00	1	.2	1.0	23.5
	4.00	44	10.4	43.1	66.7
	5.00	34	8.0	33.3	100.0
	合計	102	24.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	322	75.9		
合計		424	100.0		

2-5 あなたが一番よく吸うタバコの銘柄を教えてください。

1. マイルドセブン・ライト
2. マイルドセブン・スーパーライト
3. マイルドセブン
4. セブンスター
5. キャスター・マイルド
6. マールボロ・ライト・メンソール・ボックス
7. マイルドセブン・エクストラライト
8. キャビン・マイルド・ボックス
9. ラーク マイルド KS ボックス
10. マイルドセブン・ワン・100'S ボックス
11. その他 (具体的に)

2-5

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	5	1.2	4.6	4.6
	2.00	7	1.7	6.4	11.0
	3.00	4	.9	3.7	14.7
	4.00	12	2.8	11.0	25.7
	5.00	6	1.4	5.5	31.2
	6.00	23	5.4	21.1	52.3
	7.00	5	1.2	4.6	56.9
	9.00	6	1.4	5.5	62.4
	10.00	3	.7	2.8	65.1
	11.00	38	9.0	34.9	100.0
	合計	109	25.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	315	74.3		
合計		424	100.0		

2-6 タバコを吸い続ける理由は何ですか。(いくつでも○をつけてください)

1. ストレス解消

2-6-1

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	34	8.0	8.0	8.0
	2.00	389	91.7	92.0	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

2. 喫煙を通じての友人作り

2-6-2

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	7	1.7	1.7	1.7
	2.00	416	98.1	98.3	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

3. 格好いい

2-6-3

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	5	1.2	1.2	1.2
	2.00	418	98.6	98.8	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

4. ちょうどいい休憩

2-6-4

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	51	12.0	12.1	12.1
	2.00	372	87.7	87.9	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

5. やめたいがやめられない

2-6-5

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	25	5.9	5.9	5.9
	2.00	398	93.9	94.1	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

6. 落ち着いて考えるため

2-6-6

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	17	4.0	4.0	4.0
	2.00	406	95.8	96.0	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

7. やせたいから

2-6-7

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	1	.2	.2	.2
	2.00	422	99.5	99.8	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

8. その他（具体的に)

2-6-8

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	10	2.4	2.4	2.4
	2.00	413	97.4	97.6	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

2-7 一日の中で、タバコを吸うのはいつですか。（いくつでも○をつけてください）

1. 食事の前 2. 食事の後 3. 寝る前 4. 起床後 5. 空き時間
6. その他（具体的に)

2-7

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2.00	62	14.6	63.3	63.3
	3.00	2	.5	2.0	65.3
	4.00	5	1.2	5.1	70.4
	5.00	29	6.8	29.6	100.0
	合計	98	23.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	326	76.9		
合計		424	100.0		

2-8 あなたの周囲に喫煙者はいますか。（いくつでも○をつけてください）

1. 父親 2. 母親 3. 兄弟 4. 姉妹 5. 祖父 6. 祖母 7. いない
8. その他（具体的に)

2-8

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	22	5.2	21.2	21.2
	2.00	2	.5	1.9	23.1
	3.00	15	3.5	14.4	37.5
	4.00	10	2.4	9.6	47.1
	5.00	6	1.4	5.8	52.9
	6.00	4	.9	3.8	56.7
	7.00	35	8.3	33.7	90.4
	8.00	10	2.4	9.6	100.0
	合計	104	24.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	320	75.5		
合計		424	100.0		

2-9 あなたの友人に喫煙者はどれくらいいますか。

1. とても多い 2. 多い 3. 普通 4. 少ない 5. とても少ない 6. いない

2-9

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	23	5.4	20.9	20.9
	2.00	39	9.2	35.5	56.4
	3.00	37	8.7	33.6	90.0
	4.00	9	2.1	8.2	98.2
	5.00	2	.5	1.8	100.0
	合計	110	25.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	314	74.1		
合計		424	100.0		

2-10 今までにタバコをやめようとしたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

2-10

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	76	17.9	71.0	71.0
	2.00	31	7.3	29.0	100.0
	合計	107	25.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	317	74.8		
合計		424	100.0		

2-11 そのきっかけは何でしたか。(いくつでも○をつけてください)

1. 税金や価格の値上げ

2-11-1

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	8	1.9	1.9	1.9
	2.00	415	97.9	98.1	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

2. 経済的余裕がなくなる

2-11-2

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	33	7.8	7.8	7.8
	2.00	390	92.0	92.2	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

3. 体に悪いといわれた

2-11-3

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	24	5.7	5.7	5.7
	2.00	399	94.1	94.3	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

4. 身近な人が癌などで亡くなった

2-11-4

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2.00	423	99.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		

5. 実際に体調が悪くなった

2-11-5

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	9	2.1	2.1	2.1
	2.00	414	97.6	97.9	100.0
	合計	423	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	1	.2		
合計		424	100.0		